

## ブラジルへの出張報告書

氏名: ギルギス キロロス

所属: 九州大学 国際宇宙惑星環境研究センター

滞在期間: 2026年02月19日~03月07日

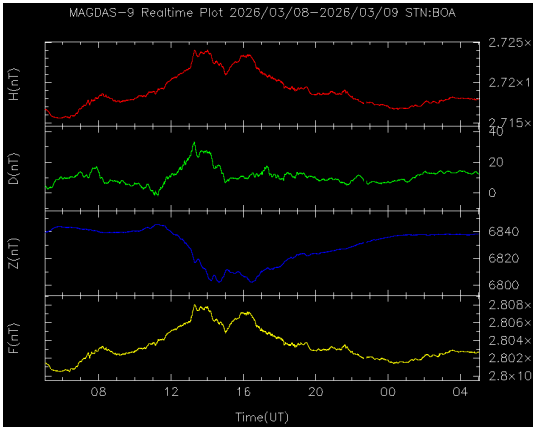
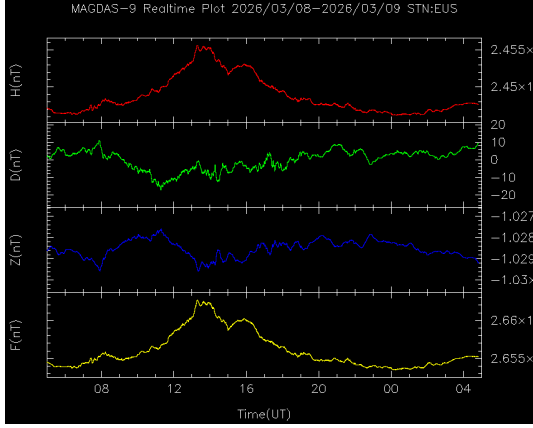


滞在先: ブラジル(ボア・ヴィスタ(ロライマ州)、エウゼビオ(セアラ州))

出張目的: 「ブラジルにおける MAGDAS 観測点の新規設置・復旧作業」

## 概要:

令和8年2月19日から3月7日にかけて、MAGDASプロジェクトの枠組みのもと、九州大学国際宇宙惑星環境研究センター(i-SPES)とブラジル国立宇宙研究所(INPE)の協力の下、ブラジルのボア・ヴィスタ(ロライマ州)における磁力計の新規設置、およびエウゼビオ(セアラ州)における磁力計の復旧を主な作業として実施した。

太陽地球系の理解を深めるため、MAGDASプロジェクトでは観測網の空間的拡張を進めている。そのため、科研費研究課題(22K21345)「国際地上観測網と人工衛星観測・モデリングに基づくジオスペース変動の国際共同研究」の目的にも沿ったものである。

目的地	BOA 観測点(ボア・ヴィスタ(ロライマ州)) ロライマ連邦大学	EUS 観測点(エウゼビオ(セアラ州)) フォルタレザにおけるブラジル国立宇宙研究所(INPE)の支所
作業	磁力計の新規設置	磁力計の復旧作業
現地協力者	Prof. Roberto Câmara de Araújo (ロライマ連邦大学) Prof. Gilmar Alves Silva (ロライマ連邦研究所) Dr. Clezio De Nardin (ブラジル国立宇宙研究所, INPE)	Eng. Avicena Filho (ブラジル国立宇宙研究所, INPE) Dr. Adeildo Sombra (マッケンジー長老派大学)
成果		
コメント	MAGDAS の新規設置は成功し、磁力計も正常に機能している。現在、以下のリンクにて BOA 観測点のリアルタイム磁場データが表示されている: <a href="http://magdas2.i-spes.kyushu-u.ac.jp/realtime/fig/mag9_BOA.png">http://magdas2.i-spes.kyushu-u.ac.jp/realtime/fig/mag9_BOA.png</a>	MAGDAS の復旧作業も成功し、磁力計は正常に機能している。i-SPES のホームページにて EUS 観測点のリアルタイム磁場データが公開されている: <a href="http://magdas2.i-spes.kyushu-u.ac.jp/realtime/fig/mag9_EUS.png">http://magdas2.i-spes.kyushu-u.ac.jp/realtime/fig/mag9_EUS.png</a>
写真		
	右から左へ順に、 Prof. Gilmar Alves Silva (ロライマ連邦研究所) Prof. Roberto Câmara de Araújo (ロライマ連邦大学) 特任准教授 阿部 修司(九大, MAGDAS の PI)、そして私。 撮影場所は、ロライマ連邦大学のキャンパス。	右から左へ順に、 Dr. Adeildo Sombra (マッケンジー長老派大学) Eng. Avicena Filho (ブラジル国立宇宙研究所, INPE) 特任准教授 阿部 修司(九大, MAGDAS の PI)、そして私。 撮影場所は、フォルタレザにおけるブラジル国立宇宙研究所(INPE)の支所。